

広報 おおえ



特集

おおえの「創生」ビジョン
～まち・ひと・しごと創生総合戦略～

汽笛を響かせ出発進行！

9月12日～13日の2日間、「SL山形目利。左沢線号」が左沢駅～山形駅の間を運行しました。12日は清野結衣さん（左沢小2年）、13日は鈴木麻聖くん（左沢小2年）が一日駅長に選ばれ、「出発進行」のかけ声を担当。SLは豪快な汽笛とともに走り出し、ホームに詰めかけた人々はその迫力に圧倒されていました。

平成27年

10

No.656

おおえの

「創生」ビジョン

～まち・ひと・しごと創生総合戦略～

平成26年11月、地方創生の推進を目的とした「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、12月には国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が発表されました。これに伴って、現在全国の市町村で総合戦略の策定が進められています。

「まち・ひと・しごと創生」とはどのようなものなのか、わが町の総合戦略の策定はどのように進められ、どんな形になっているのか。その概要についてお伝えします。

「まち・ひと・しごと創生」とは

現在、日本は急速な少子高齢化による人口減少という問題に直面しています。人口の減少は今後さらに加速度的に進むとみられていて、これによる消費の減少、経済力の低下は日本の経済にとって大きな重荷になると考えられています。この深刻な人口減少に歯止めをかけることと、それぞれの特色を生かして地域を活性化させる「地方創生」が、国にとっても地方にとっても重要な課題となっています。

「まち・ひと・しごと創生」は、この人口減少克服と地方創生をあわせておこなうことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目指すものです。

人口減少問題は地域によって状況や原因が異なっており、その特性に応じた解決方法を模索することが必要になってきます。このため、すべての都道府県と市町村が独自の「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定し、責任を持ってそれに基づいた政策を推進していくことが求められています。そして国は、地方に対して情報・財政・人材の各方

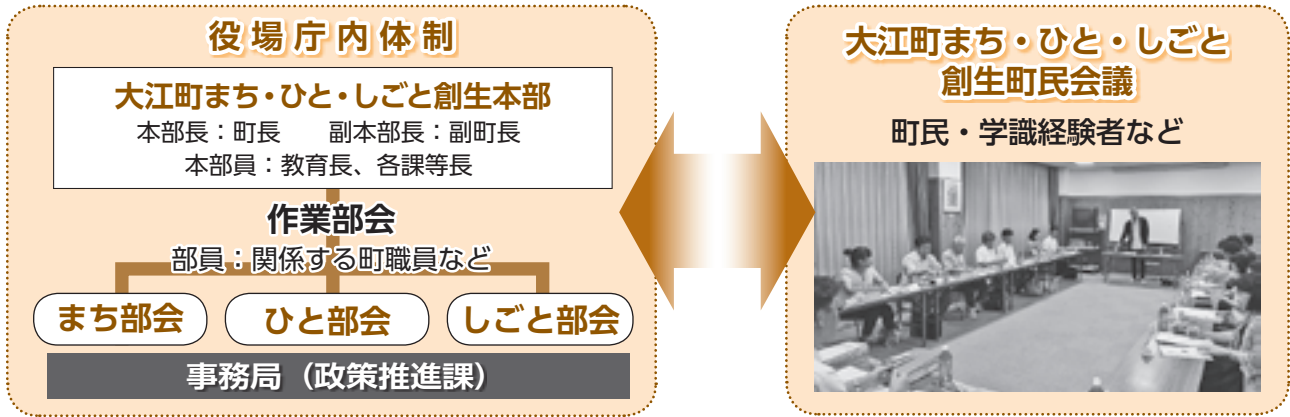
面から切れ目なく支援を実施していくこととしています。

総合戦略における3つのキーワード「まち」「ひと」「しごと」は、人材と雇用の相互作用によって地域社会全体を活性化させ、人口減少と地域経済縮小を克服するという将来像を示すものとなっています。「しごと」が地方に「ひと」を呼び、「ひと」が新たな「しごと」を生み出すという好循環を確立するとともに、それを支える「まち」に活力を取り戻すという構図が、総合戦略の基本的な考え方です。

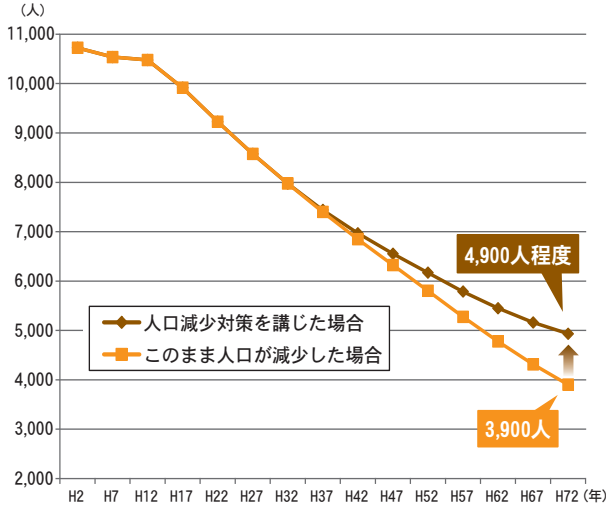
わが町の総合戦略策定体制

本町におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図るため、平成27年2月に町長を本部長とする「大江町まち・ひと・しごと創生本部」が設置されました。本部の主な役割は、人口の現状と将来の展望を提示する「大江町人口ビジョン」と、「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成し、さらに総合戦略の実施状況を検証することです。そして人口ビジョンと総合戦略の素案作成などをおこなうため、「まち」「ひと」「しごと」それぞれに作業部会

大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定体制



町の人口の推移と今後の展望



「人口減少対策を講じた場合」の人口推計の条件

- ・合計特殊出生率が平成72年に2.08程度に向上 (平成25年の合計特殊出生率：1.72)
- ・社会増減が平成72年に均衡 (平成25年の社会増減：年間84人減少)

※合計特殊出生率：1人の女性が一生のうちに生む子どもの平均数

が置かれました。各部会は、それぞれの業務に係る町の職員などで構成されています。

一方で、地方版総合戦略の策定にあたっては、各分野の専門家や、女性、若者、高齢者など、あらゆる方々の協力が欠かせません。そのため、広く町民の皆さんの意見を反映させることを目的として「大江町まち・ひと・しごと創生町民会議」が設置されました。この町民会議には、学識経験者をはじめ、さまざまな面で活躍されている町民の皆さんが委員となって参加しています。

町民会議・創生本部・作業部会が

わが町の今後の人口展望

本町における人口は、昭和25年の1万7159人をピークに、その後

連携し、活発かつ円滑に戦略策定と施策の実施を進めていくために、今年度から政策推進課内に事務局として「総合戦略推進係」が新設されています。

これまでの検討作業と、6月におこなった町民の皆さんへのアンケート調査結果などを踏まえ、本町の「人口ビジョン」と「総合戦略」の素案が形づくられました。

は一貫して減少が続き、平成22年には9227人とピーク時の人口の53・8%となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、このままの傾向で人口減少が続けば、本町の人口は平成72年には3900人にまで減少するとされています。

人口の増減には2つの要因があります。ひとつは出生と死亡による増減のことで、これを自然増減といいます。もうひとつは転入と転出による増減のことで、これを社会増減といいます。本町では、出生数の減少や若者の町外への進学・就職などにより自然減少と社会減少の両方が進んでいます。

人口減少に歯止めをかけるためには、「わが町」ならではの強みを生かした対策を講じることが重要です。現在策定を進めている「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、若者や女性にとって魅力ある雇用場をつくり出し、町民の結婚・出産・子育ての希望をかなえることを目指しています。

こうした施策を実施していくことで人口減少を抑制し、平成72年には4900人程度の人口を維持できると展望しています。

地方創生に関するアンケート調査結果と分析

町では、「総合戦略」と「人口ビジョン」を策定する上での基礎資料とするため、町民の皆さんにアンケート調査をおこないました。その集計結果と、男女別・世代別・地域別などに分けた分析結果の一部をお伝えします。
※アンケート集計結果は、全体集計における上位の回答を抜粋しています。複数選択可の設問も含まれています。

結婚について

Q. 現在、結婚していない理由は何ですか？
(未婚の方が対象)

- A. ①良い相手にめぐり合わない (42.7%)
②自由や気楽さを失いたくない (13.6%)
③必要性を感じない (10.9%)

Q. 町が取り組むべき結婚支援は？
(未婚の方が対象)

- A. ①安定した雇用の支援 (55.0%)
②婚活イベントなどの出会いの場の提供 (34.9%)
③結婚祝い金などの経済的支援 (28.4%)

- ・未婚の方の多くは「良い相手が見つければ結婚したい」と考えており、結婚していない理由で「良い相手にめぐり合わない」と答えた方の比率は、特に男性で高くなっています。結婚適齢期に対するフォローが必要と考えられます。
- ・結婚して新たな世帯を構えるためには、仕事と収入の安定が必要であり、多くの方が「安定した雇用の支援」を望んでいます。一方で、若い世代の多くは「出会いの場の提供」を要望していて、良い相手にめぐり合わない状況の打開を望んでいます。

若者の定着について

Q. 将来、どの地域での就職を希望しますか？
(中学生・高校生・大学生が対象)

- A. ①大江町から通勤できる近隣市町 (37.7%)
②特にこだわらない (26.0%)
③首都圏 (11.7%)

Q. 将来、大江町に帰ってきたいと思いますか？
(前の質問で町外を選択した方が対象)

- A. ①働き先があれば帰ってきたい (61.5%)
②帰ってくる予定はない (15.4%)

- ・地元に住んで通勤できる近隣市町での就職希望が多く、特に女性にその傾向が強くなりました。一方で、地元就職を希望し「大江町内」と答えた方は6.5%にとどまりました。
- ・町外で就職を希望する方でも、半数以上の方は「働き先があるなら帰ってきたい」と答えています。高校生の場合、「地元で就きたい業種の企業がない」という理由で町外に出たいという生徒が多いようです。高校生が魅力を感じる職場を確保することが重要となります。

高齢者の暮らしについて

Q. 高齢化が進む中、町の施策はどのようなことに重点を置いて進めるべきですか？

- A. ①雪が降っても安心して生活できる克雪対策 (48.2%)
②高齢者のための介護・医療・福祉の充実 (44.3%)
③高齢者の孤立を防ぐ地域のつながりの強化 (26.6%)

Q. 今後、特にどのような雪対策が必要だと思いませんか？

- A. ①住居などの雪下ろしの支援 (67.3%)
②道路の除雪 (44.8%)
③雪下ろし後の排雪への支援 (38.9%)

- ・大江町では、冬の降雪は避けられません。高齢になると雪下ろし、雪かきは身体的に大きな負担となります。地区別にみると、山間部ほど雪対策への要望が高くなっています。
- ・具体的な雪対策としては、雪下ろしへの支援がもっとも多く望まれています。地区別集計では、七軒地区で「敷地内の除雪への支援」が多く、広い敷地内の除雪が重労働であることがうかがえます。
- ・高齢者対策で2番目に多かった介護・医療・福祉の充実については、「福祉施設などの待機者解消のための施設整備の促進」が最も多い要望でした。

暮らし・活性化・人口減少対策について

Q. 大江町のどのような点に魅力を感じますか？

- A. ①自然の豊かさ (76.6%)
 ②豊富な農産物や食の安全安心 (52.0%)
 ③温かい町民性 (33.2%)

Q. このまま大江町に住み続けたいですか？

- A. ①住み続けたい (63.5%)
 ②近々、引っ越す予定である (0.5%)
 ③予定はないが、いずれ引っ越すと思う (10.3%)
 ④わからない (25.7%)

・町の魅力として「自然の豊かさ」をあげた方が最も多い結果となりました。地区別の傾向をみると、本郷地区では「子育てのしやすさ」、七軒地区では「安い生活コスト」が上位に入っています。世代別にみると、若い世代は「歴史的な町並み・風土」に魅力を感じる人が多いようです。

・「このまま住み続けたい」という定住意向は、全体集計では6割以上となっていますが、地区別傾向では七軒地区が50.0%、世代別では青年層が22.2%と低くなっています。

「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」の概要

基本目標と 施策の展開

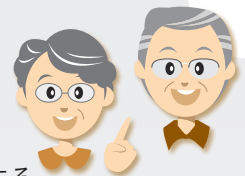
「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、町の人口の現状と将来の姿を踏まえ、人口減少克服を目的として、平成27年度から平成31年度までの5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものです。

基本目標1 おおえの豊かな地域資源を活用した雇用をうみだす

- ・多様な農産物や豊富な森林資源、歴史ある町並みなど、地域の多様な資源を生かした産業の振興
- ・若者や女性などの多様な主体による創業・新規就農などのチャレンジを支援する。
- ・町内立地企業の関連企業などの誘致を展開することなどにより雇用を創出する。

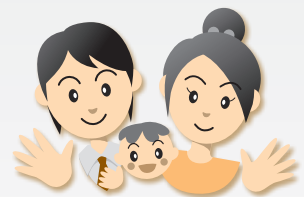
基本目標2 おおえへの新しい人の流れをつくる

- ・町外へ進学した若者の就職機会などを捉え、町内への回帰・定住を促進する。
- ・県や近隣市町との連携のもと、本町出身者や移住希望者のU・I・Jターンを推進する。
- ・生まれ育ったふるさとの歴史や文化を学び、地域を超えた交流を進め、本町に対する誇りや愛着を醸成することにより、町内回帰・定住につなげる。



基本目標3 おおえの若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・若者が結婚を前向きにとらえ、結婚を希望し、出会い・結婚につながる支援を充実させる。
- ・安心して子どもを生み育て、子育ての楽しさを実感することができるよう、子育ての不安・負担を軽減し、出産・子育てをしやすい環境の整備を図る。
- ・女性の就業率が高い中で仕事と子育てを両立できる環境を整備し、女性が子育てしながら活躍できる環境づくりを推進する。



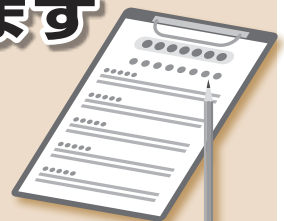
基本目標4 おおえの地域力の強化と安心・堅実な暮らしをまもる

- ・住民と地域の絆を再構築し、集落活動を強化する取り組みを進めるとともに、集落人口の減少によって生じている課題の解決に向けた支援を推進する。
- ・災害や雪に強いまちづくりなど、安全・安心・快適に暮らせるような身近な生活環境を整備する。
- ・誰もが健康で生きがいのある生活を送れるよう、保健や医療、福祉サービスの充実を図る。

「大江町人口ビジョン(案)」 「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」

に対する意見を 募集します

- 意見募集期間 10月8日(木)～10月21日(水) ※郵送の場合は、10月21日(水)必着
- 案の公表 町ホームページへの掲載、政策推進課での閲覧
- 提出方法 政策推進課へ直接提出、もしくは郵送、FAX、メールにて提出
 ※お問い合わせは、政策推進課総合戦略推進係 ☎62-2118まで



町民の声を届ける11人

《大江町議会議員選挙開票結果》

	氏名	党派・新現元別	得票数
当選	菊地 勝秀	無所属・現職	670
当選	関野 幸一	無所属・新人	570
当選	土田 勵一	無所属・現職	507
当選	佐藤 敏春	無所属・元職	499
当選	安食 幸治	無所属・現職	474
当選	松田 敏男	社民党・現職	470
当選	結城岩太郎	無所属・現職	447
当選	毛利登志浩	無所属・新人	421
当選	小野 祐一	無所属・現職	371
当選	宇津江雅人	無所属・現職	367
当選	伊藤慎一郎	無所属・現職	357
	村木 均	無所属・新人	311
	安彦 勉	無所属・現職	185

投票率 / 77.74%
(前回比 △ 4.25%)

当日有権者数 / 7,367人
投票者数 / 5,727人

新大江町議会議員紹介

任期満了に伴う大江町議会議員選挙が、9月8日告示、13日投票という日程で実施されました。今回は9人の現職議員のほか元職1人と新人3人、合わせて13人が立候補し、定数削減によって11となった議席を争う形になりました。

5日間にわたる選挙運動の中で、各候補はそれぞれの掲げる公約を町民に熱く訴えかけ、激しい選挙戦を展開。町民にとって最も身近な選挙ということもあって高い関心を集め、13日の投票日は多くの有権者が一票を投じました。そして即日開票の結果、11人の新しい町民の代表が決定しました。

きくち かつひで
菊地 勝秀

(65) 無所属・現職



①伏熊②2回③会社役員④子育て支援／住民と行政の気持ちに通う町づくり／おおえの魅力発信／地域の住環境の整備・空き家対策



▲東地区公民館での開票作業の様様

つちだ れいいち
土田 勵一

(68) 無所属・現職



①蛍水②5回③町議④子育て支援などの人口減少対策／企業誘致の推進／駅前公有地への複合施設建設／議員専門化と議員定数削減

せきの こういち
関野 幸一

(55) 無所属・新人



①8区②1回③自営業④花火大会・歴史的景観の保護／スポーツの振興／消防団の充実と強化／開かれた信頼される議会の実現

※右から左に得票順。氏名(敬称略)、年齢、党派、現元新別。①区名②当選回数③職業④公約など(選挙公報から抜粋)

あじき こうじ
安食 幸治

(46) 無所属・現職



①7区②2回③自営業④子育て支援／定住促進／地域医療の充実／産業・地域の活性化／住民の声を代弁し、身近な願いを実現

さとう としはる
佐藤 敏春

(64) 無所属・元職



①小新②2回③無職④議員定数削減／育児環境と福祉の充実／基幹道・生活道の整備促進／農林・商工業振興／災害に強い町づくり

ゆうき いわたろう
結城岩太郎

(64) 無所属・現職



①小新②5回③農業④子育て環境の充実／婚活応援事業の推進／雇用の確保／農林業の所得向上／商店街活性化／災害対策／道路交通網整備

まつだ としお
松田 敏男

(73) 社民党・現職



①貫見②6回③自営業④駅前開発と市街地の活性化／子育て世代にやさしいまちづくり／新規就農者受け入れと6次産業化の推進

おの ゆういち
小野 祐一

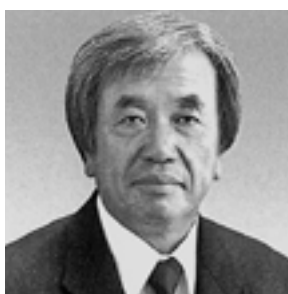
(71) 無所属・現職



①富沢②5回③農業④地場産業の育成／優良企業の誘致／起業・農業の支援／子育て・医療・介護制度の充実／教育の充実／議会の活性化

もうり としひろ
毛利登志浩

(64) 無所属・新人



①望山②1回③農業④雇用確保と地場産業育成／子育て環境の充実／幼児教育の充実と学校・社会教育の連携強化／高齢者のための環境整備

いとうしんいちろう
伊藤慎一郎

(66) 無所属・現職



①小見②3回③農業④農林業の活性化による人口減少抑止と地域産業全体の活性化／次世代が安心して暮らせる自然豊かな町づくり

うつ えまさと
宇津江雅人

(65) 無所属・現職



①蛍水②2回③無職④子育て環境の構築／公共施設の活用／商店街活性化／農林業活性化と特産物開発／観光事業推進／危機管理体制の強化

の算定結果を報告します

◆実質赤字比率

※ 実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成25年度
	黒字	15.0%	20.0%	黒字

実質赤字額とは、支出を翌年度に繰り延べたり、翌年度の歳入を繰り上げて使ったりした額のことです。平成26年度は、204,989千円の黒字決算となりました。

◆連結実質赤字比率

連結実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成25年度
	黒字	20.0%	30.0%	黒字

連結実質赤字額とは、一般会計や特別会計など町のすべての会計の実質赤字額(資金不足額)のことです。平成26年度は、いずれの会計とも赤字額が生じておらず、合計で624,350千円の黒字決算となりました。

◆実質公債費比率

実質公債費の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成25年度
	8.1%	10.1%	25.0%	35.0%	9.4%

実質公債費とは、町(一般会計等)が負担する公債費と補助金等を分割で負担するなどの債務負担行為などの公債費に準ずる支出のことです。比率は3か年の平均により算出しますが、内訳は、平成24年度…9.78197%、平成25年度…8.81354%、平成26年度…5.71246%となっています。

◆将来負担比率

将来負担額の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成25年度
	33.4%	70.8%	350.0%		43.6%

将来負担額とは、町(一般会計等)が将来にわたって負担すべき、町債、債務負担行為などのことです。また、町の貯金である基金などは、この負債から控除して計算されます。具体的な計算は、以下のとおりです。実質的な負債となる額8,094,219千円(A)、充当可能財源7,228,227千円(B)、標準財政規模(C)※、平成26年度の算入公債費等の額598,960千円(D) $(A-B) \div (C-D) = 33.4\%$

※…標準財政規模等とは、税金、地方譲与税、普通交付税などの使途を特定されない収入(一般財源)の標準とされる額で、平成26年度は、3,185,009千円となっています。

地方自治体財政の早期健全化や公営企業の経営健全化を図るため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、公営企業ごとの資金不足比率の算定と公表が義務付けられています。

このたび、平成26年度の算定を行ったところ、指標はすべて基準を下回り、町の財政は健全性を確保できていることがわかりました。今回は、その概要をお知らせします。(より詳しい内容は、町ホームページで公表しています。)

議会

town council

9月定例会

町議会議員選挙後初めてとなる大江町議会第3回定例会が、9月29日から10月2日までの会期で開かれました。

今定例会では議長と副議長の選挙がおこなわれ、議長に小野祐一氏、副議長に菊地勝秀氏が選出されました。そのほか人事案件、条例改正、各会計の補正予算などが審議され、原案どおり可決・承認されました。冒頭に渡邊町長から行政報告があり、その内容の一部を紹介します。

行政報告

町立わかば保育園の改修

少子化が進行する中で町立保育園の統合は避けられず、敷地面積や既存の建物の築年数、周辺の環境などから、平成30年度を目標にわかば保育園に統合す

る予定です。

統合後の定員は140人程度とし、定員増に伴う必要面積を増築すること、現在と同様に子育て支援センターを併設し、屋内遊具を充実させることを検討しています。定員増への対応と子育て支援センターの充実のために、屋外での遊び場や駐車場を確保し、保育環境の整った子育ての拠点となる施設として整備してまいります。

施設改修の素案がまとまり次第、できるだけ早い時期に町民の皆さんに説明する機会を設けたいと考えています。

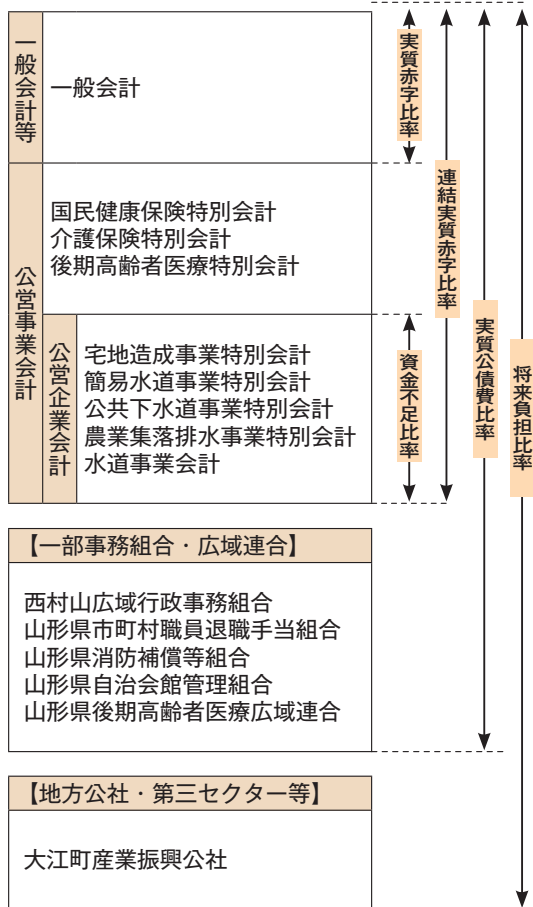
人事案件の同意

大江町監査委員(議会選出)について、結城岩太郎氏が選任されました。

教育委員会委員の任期満了に伴い、山家貴代氏(7区)が再任されました。また、高取和彦氏(荻野)の任期満了に伴い、犬飼藤男氏(1区)の任命について同意されました。2名とも、任期は平成31年9月までとなっています。

平成26年度 財政健全化判断比率等

財政健全化判断比率等の対象範囲



◆資金不足比率

公営企業会計の名称	本町	経営健全化基準	事業規模(千円)
水道事業会計	—	20.0%	274,496
簡易水道事業特別会計	—	20.0%	1,532
公共下水道事業特別会計	—	20.0%	4,774
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%	866
宅地造成事業特別会計	—	20.0%	0

資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が事業の規模に対してどの程度あるかを示すものです。平成26年度は、いずれの会計とも資金不足額が生じていません。

●●財政健全化法とは●●

財政健全化法とは、地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐため、健全化判断比率により財政状況を把握し、悪化した団体に対して早期健全化を促すための法律です。これらの指標の基準には、外部監査などが義務付けられる「早期健全化基準」と破綻状態と見なされ事実上国の管理下に置かれる「財政再生基準」の二段階があり、いずれかの基準を超過すると、財政健全化計画または財政再生計画の策定などにより健全化を目指すことになります。また、資金不足比率についても、早期健全化のレベルにあたる「経営健全化基準」に抵触すると、経営健全化計画の策定などの制約が加わることになります。

●●大江町の指標のポイント●●

実質公債費比率は、平成26年度の元利償還金(地方債の借入金の返済金)が減少したこと等により、前年度より1.3ポイントの改善となりました。

また、将来負担比率は前年度より10.2ポイントの改善となっており、将来負担額となる地方債(借入金)現在高が減少したこと、公営企業の公債費に充てるための繰出見込額が減少したことが主な要因となっています。

今回の算定では、いずれの指標とも改善傾向を示す結果となりましたが、町では今後も地方債の発行にあたっては慎重に進めながら財政の健全化に努めていきます。



大江町議会議長
小野 祐一氏

今定例会で引き続き議長に選出された小野議長に、町議会運営の抱負をお聞きしました。

「町政執行部と議会は、車の両輪のようなものだと考えています。議会の本来の機能を発揮できるよう、議員の融和に努め、議長としてリーダーシップをとっていきたい。また、将来の町の発展につなげるために、後輩議員の指導・育成に尽力してまいります」

補正予算

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、村上弘子氏(藤田)が再任されました。任期は平成30年9月までとなっています。

平成27年度一般会計補正予算(第2号)が原案どおり可決され、歳入歳出にそれぞれ2億8010万円を追加し、総額は56億3400万円となりました。主な支出については次のとおりです。

総務費はマイナンバー制度の開始に伴うシステム改修費用や、ふるさとまちづくり寄附に関連する費用、山里交流館のグラウンド排水処置工事費用など、2億1452万円。民生費は、県の補助金対象である認知症高齢者グループホームの整備に対する補助金や、放課後児童クラブに関連する委託料など2952万円。農林水産業費については、地方創生先行型上乘せ交付分の対象事業となる、やまがた地鶏の販路拡大を図るための事業委託料など409万円。商工費では、豪雨などの自然災害に備え、町内の商工業などの事業者が事業用地の防災対策工事をおこなう場合の補助金など1006万円となっています。



大江の秋まつり



見事な秋晴れの空が広がった9月20日、左沢駅前広場を中心に大江の秋まつりが開催されました。地域に古くから伝わる伝統、住民の力で復活した芸能、そして躍動感あふれる新しい文化。町内各地区の御輿や芸能が駅前広場に勢ぞろいし、町内外から訪れた大勢の人たちの目を楽しませました。

御輿や獅子舞は夕方まで町内各地を練り歩き、威勢の良いかげ声と風雅な祭りばやしの笛の音が、町中をお祭り気分盛り上げました。





10



9



8



7



7区囃屋台

祭りばやしに町が華やぐ

参加団体

- ① 9区尚和会神輿
- ② 深沢獅子踊
- ③ おかみさんソーラン愛好会
- ④ 駅前でふるまわれた焼きそばとナポリタン
- ⑤ 御免町囃子座
- ⑥ MOVERヒップホップダンス
- ⑦ 8区女相撲甚句
- ⑧ 7区囃屋台
- ⑨ 左沢獅子舞
- ⑩ 八幡神社神輿



6



■ 巨理町との交流事業継続 ～えんころ舟唄交流事業に関する協定延長～

宮城県巨理町と本町の間で、平成24年度に締結されていた「えんころ舟唄交流事業に関する協定」を延長することが決まりました。これにより協定は平成29年度までとなります。

この協定は、両町の地域活性化のために協力しながら、人と物の交流をおこなうためのもので、これまで互いの町の特産品販売や、最上川舟唄とえんころ節を通じた交流がおこなわれてきました。今後も活発な交流が続くことが期待されます。

■ いつまでも元気で長生きを ～百寿寿賀祝伝達～

今年度、町内では6名の方が満百歳を迎えられ、国から賀詞と祝品、町からは祝金が贈られました。そのうち自宅で暮らしている3名の方へ、9月14日に渡邊町長からお祝いの品々が手渡されました。

町内の男性で最高齢となる富樫義一郎さん（柳川平）は、「田や畑、山の仕事で暮らしてきたおかげで、体力があったので今まで生きてこられました」と喜びを語りました。渡邊町長は「ぜひ120歳まで頑張ってください」と笑顔で激励しました。



■ 公正な選挙の実施のために ～明るい選挙啓発ポスター第1次審査～

今年度の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」の第1次審査会が、9月14日に役場大会議室でおこなわれました。このコンクールは明るく正しい選挙を呼びかけるためのポスターを募集するもので、全国の小学校から高校までの児童と生徒が対象です。

本町の第1次審査では選挙管理委員や教育委員などの9名の審査員が審査にあたり、応募総数155点の中から44点が選ばれました。入選作は県で実施される第2次審査に進むことになります。

■ 北の大地に舟唄が響く ～第53回江差追分全国大会～

全国の江差追分の唄い手が自慢ののどを競う第53回江差追分全国大会が、9月20日に北海道江差町で開催されました。

本町で開催された正調最上川舟唄全国大会に江差追分會が招待されたことを受けて、この大会には本町の正調最上川舟唄保存會が招待されました。江差町を訪れた石川博資會長（葛沢）はじめ6人の會員は、北の大地に集った民謡ファンに最上川舟唄の調べを披露し、会場は拍手喝采に包まれました。



■町の情報をお届けします ～メール配信サービス開始～

5

電子メールを利用して町の行政情報などを皆さんに提供する「大江町メール配信サービス」が、10月から開始されます。このサービスでは、生活情報、観光・イベント情報、防災情報など、町に関するさまざまな情報の中から、利用者の方が必要なものを選んでメールで情報を受け取ることができます。

サービスを利用するためには、利用登録をおこなう必要があります。下記のメールアドレスに空メールを送信していただき、返信されたメールから登録サイトにアクセスしていただくことで登録が完了します。お好みの情報を無料で受け取ることができますので、ぜひご利用ください。

メール配信サービス利用登録用アドレス
oetown-toroku@gp84.asp.cuenote.jp



左のQRコードを読み取ってメールを送信すると、登録サイトのアドレスが記載されたメールが返信されます。サイトにて必要事項を入力していただくと登録完了です。
※メール配信サービスは無料でご利用できますが、メール受信の際にかかる通信料は利用者負担となります。お問い合わせは、総務課情報システム係 ☎62-2187まで



メール配信の主な内容

- ◇生活情報
福祉、健康、子育て、生涯学習、その他各種お知らせ
- ◇観光・イベント情報
観光やスポーツに関するイベント情報
- ◇防災情報
各種防犯・防災情報

藤田地区住宅団地 現地見学会について

定住人口を増やすための取り組みとして藤田地区に造成をすすめてきた新しい住宅団地が、間もなく誕生します。下記の日程で現地見学会をおこないますので、ぜひお越しください。



日時：11月1日(日) 10時～12時

場所：藤田地区住宅団地

※お問い合わせは、政策推進課政策推進係 ☎62-2118まで

輝いて
今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

第70回山形県総合美術展(敬称略)

- 〔入選〕
日本画：「夕映え」 五十嵐藤一郎(富沢)
- 〔仰ぐ〕
川村 秀子(4区)
- 工芸：「RAKUYŌ」 鴨田 圭太(1区)
- 〔委嘱〕
彫刻：「アニメの女」 鴨田 徳康(1区)

第57回こども県展

- 〔奨励賞〕
〔放課後〕
東海林真奈(大江中2年)
- 〔入選・園児〕
鈴木 琉都(大江幼稚園)
小野 夢紡(大江幼稚園)
横山 健志(大江幼稚園)
盛田 茉優(大江幼稚園)
鈴木 琴音(わかば保育園)
林 哲平(さくら保育園)
- 〔入選・小学生〕
伊藤 日翔(左沢小2年)
松田 蒼生(左沢小4年)
清水 陽(本郷東小2年)
伏貫 珠生(本郷東小4年)
- 〔入選・中学生〕
大谷明日香(大江中1年)
高橋 優花(大江中2年)
菊地 夢杏(大江中3年)

8/30 9/5 紅白の団結力で勝利を

秋の訪れが感じられる8月末から9月初めにかけて、町内の小中学校で運動会がおこなわれました。

大江中学校大運動会は8月30日に開催され、学校創立40周年を記念して全校生徒が「40」の人文字を作成。紅白対抗の騎馬戦では、降りしきる雨の中で泥だらけになりながら熱戦を繰り広げ、生徒たちにとって印象深い運動会となりました。

9月5日は左沢小学校と本郷東小学校でそれぞれ大運動会がおこなわれました。前週からは一転して秋晴れの空が広がり、児童たちは赤組と白組に分かれてさまざまな競技で力いっぱい競い合いました。

本郷東小学校で優勝した赤組の組頭・鈴木紗和さん（下北山）は、「小学校最後の運動会で正々堂々と戦い、優勝できて嬉しいです」と話しました。応援賞は、最後まで全員が声を振り絞って応援した白組が獲得。紅白それぞれの団結力が、優勝と応援賞を引き寄せ、歓喜の声が響き渡りました。



▲大江中学校生徒による「40」の人文字



▲左沢小大運動会・大玉送り



▲本郷東小大運動会・綱引き



9/8 みんなで味わう旬の「くろべえ」

大江茄子部会から町立保育園と小中学校に、給食用のくろべえなすが提供されました。この取り組みは、給食を通して子どもたちに町の農業について考えてもらう場を作るために実施されているもので、今年で13年目となります。

これに合わせて本郷東小学校では、9月8日に給食交流会がおこなわれました。大江茄子部会長の堀実さん（富沢）から、児童代表の6年生柏倉爽良くん（三合田）にくろべえなすが手渡され、「なすの肉みそがけ」などの献立を関係者と全校児童と一緒に味わいました。



8/30 未来の生き物はどんな姿？

小学生の子どもたちに町の自然の豊かさとのづくりの楽しさを伝えようと、東北芸術工科大学の学生有志が企画した「おおえ familywa」が、8月30日に山里交流館でおこなわれました。今回の企画は、子どもたちが「タマゴリアン」と呼ばれる未来の生物の姿を想像し、実際になりきって演じるというものです。

誰も見たことのない生き物に扮するために、子どもたちは段ボールやテープ、木の枝などの自然の材料も利用して、衣装づくりに熱中。実に個性的な「タマゴリアン」たちが誕生しました。



9/26-27 オリジナルカレーはナンでもあり!?

子どもたちが仲間と一緒に自然の中で集団生活を体験する「大江GO!GO!キャンプ2015」が、9月26日と27日の2日間、朝日少年自然の家でおこなわれました。今年は町内の小学校4年生から6年生の児童22名が参加しました。

子どもたちは木を材料にした自分だけのスプーン作りを体験し、その後グループごとに夕食のナンとカレー作りに挑戦。自分で生地をこねて焼き上げたナンと、唐辛子やヨーグルトなどいろいろな隠し味を使ったオリジナルカレーを、子どもたちは何度もおかわりしながら味わっていました。



9/8 ヒーローと学ぶ救急医療

9月6日からの救急医療週間に伴い、救急医療に対する理解を深めてもらうための寸劇が、9月8日に特別養護老人ホーム大寿荘で開かれました。劇の主演は、左沢高校の生徒有志が制作したご当地ヒーロー「憑身シェイガー」。AED（自動体外式除細動器）を使用して応急処置をする場面を熱演し、観客の大寿荘利用者や職員から握手を求められていました。

その後、消防署大江分署職員の指導で、施設職員や左沢高校JRC部員がAEDを実際に使用し、緊急時の対応方法について学びました。



9/12 おおえの味覚盛りだくさん

町の味覚や特産品が一堂に集まる「物産味覚おおえ日和。」が、9月12日にJR左沢駅前広場で開催されました。駅前に並んだブースでは、やまがた地鶏の焼き鳥や鮎の塩焼き、旬の野菜や果物のほか、町内飲食店の自慢の味がずらりと並び、大勢の人々にぎわいました。

広場ではミニライブなどもおこなわれ、「シェイガー」や「日本一くん」といったキャラクターも登場。射的などのゲームを楽しめるコーナーもあり、子どもたちも大喜びの「おおえ日和」となりました。



久しぶりの雨。稲刈りの季節には、ありがたくない雨だ。「今まで経験したことのない大雨・大雪・大津波・強風」の「警報」が予報されるようになり、気候変動・異常気象・地球温暖化を、現象としても実感できることが多くなった。気象が被災を日常化し、「救難を「天気予報」で想定しなければいけないのは、少々きつい。「あーした、てんきに、なーれ」と「てるてる坊主」、穏やかな「天気」は、もう過去のものなのだろうか。「枝豆と松保の大杉」「蟻と象」などなど、地球上の生物は、気象の変動をどう見ているか。

10日ほど前、「田んぼに入れるかあー」と声をかけた。合羽を着て枝豆の収穫中の農家の方、長靴もかなり泥濘ぬかるみの中だ。トラクターには、枝豆を運ぶトレーラー。雨の日の、田んぼの難儀な、きつい仕事だ。「だいたいようぶだあー」、明るい声でこちらを見ている。薄暗い朝の5時の「明るい農村」。田んぼの仕事から、バック詰めになるまで、枝豆には多くの人の「手と足と心」が詰まっている。安全安心で美味しい枝豆を届けた「一心」も。「手と足と心」への正しい評価を、消費される方々に期待したい。物言わぬ農家の方々のために。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.26

左沢市街地の北側、9区内の高台に位置しているのが薬師堂です。その所在は、19世紀前半の「左沢絵図面」や「左沢御領内御絵図」の中にもみることができます。

医王寺は天台宗の寺院であり、江戸時代は内町の南に位置していました。創建は室町時代中期の文安3年(1446年)といわれ、薬師堂の別当であったといえます。明治2年の大火の際に焼失し、薬師堂のある現在の場所へと移転しました。境内には町内では珍しい道祖神が祀られています。道祖神は集落の入口や道の辻に祀られ、村や旅人の守り神として信仰されていました。

現在、コンクリート造りの堂宇の二階部分に設置されている薬師堂本堂は、江戸時代の元禄年間に建築され、大正3年に寒河江市西根から移築されたものと伝えられています。擬宝珠を載せた宝型屋根、向拝の梁に掘られた彫刻など、伝統的な形式を良く伝えていて、近世左沢町の姿をしのばせる建築物といえます。

医王寺薬師堂



短歌

米寿過ぎ身辺整理焦れども愛着ありて処分に苦慮す

菅井 妙子

裏庭の荒草ようやく取り終えて冷たく冷やしたコーヒーを飲む

佐竹 麗子

稲の穂も金色こんじきに輝きて頭を垂れて刈取を待つ

長岡かつ子

この国の形を変える安保法抗議の声は天に響きて

山家 重之

人住まず荒れし庭にも木通あけびづる松に絡まり実が二つ三つ

菊地つねよ

父の日に葡萄一鉢贈られし庭一杯に匂ひ香し

佐竹 與鼓

介護する夫の名をも忘れしか浮雲のごと生きるわが妻

齋藤 徳治

俳句

赤とんぼ風に逆らひ空に舞ふ

菅井 妙子

秋霖や秋冬野菜ままならじ

鴨田富士夫

果樹の村台風追いやる祭あり

阿部 一風

白秋や脅し強行安保法

金子脩一郎

秋澄みて布団の中の安らかさ

山家 重之

やはらかき霧湧き山の小屋暮れる

今井 茂樹

古里の川の恵みの下り鮎

清野今日子

刈田道かつて連呼の選挙道

熊谷 勉

ころころと風に委ねし虚栗みなしくり

舟山 三男

入院の妻の髪梳く敬老日

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful
★ ★ トーク ★ ★

今年晴れて成人式を迎えた大泉さんは、理学療法士の資格取得を目指して、現在医療技術系の専門学校に通っています。高校時代、陸上部に所属していた時にリハビリを受けたことで理学療法士の仕事を知り、現在の学校へ進学することを決めました。この冬には病院での1カ月間の実習を控えているそうです。

「実習では、人との接し方をしっかり学びたいです。以前実習で接した患者さんが、だんだん打ち解けて笑顔になってくれた時は嬉しかったですね」

平日は夜まで勉強に実技に忙しい毎日を送る大泉さん。休日は友達と一緒に水族館や動物園に出かけて、リフレッシュしているそうです。

「リハビリの技術を身につけるだけでなく、出会った患者さんみんなに笑顔になってもらえるような理学療法士になりたいです」と、将来の目標を語ってくれました。

大泉 弥生さん (20歳・堂屋敷)

患者さんに笑顔と元気を届けたい

地域おこし協力隊通信 No.16



今年4月にオープンした山里交流館「やまさあーべ」。夏の繁忙期には大学、小学校、町外の子供会や部活動の合宿、県外からの団体やご家族など、本当にたくさんのお客様にご利用いただき、半年間で約400名の宿泊がありました。

目が回るような……とはこの事です。曲りなりにも乗り切れたのは、町内の色々な方々のご協力のおかげだと感じています。

やまさあーべの大きな売りは体験プログラムです。大頭森山登山、草木染め、月布川で泳いだり、鶏を一羽メて食べたこともありました。県外からのお客様の場合は、本郷でのスモモ狩り体験、柳川温泉や小倉交流館、歴史民俗資料館をご紹介したこともあります。舞台は大江町全域です。

可能な限り、お客様のご要望の中で「できない事」がないようにする事が私のモットーです。それが故に、試行錯誤の日々でもありました。これからも試行錯誤は続いていくと思います。大変だけれども、それが楽しみで仕方ありません。

地域おこし協力隊 佐々木隆馬



↑月布川：七軒西小学校卒業生の方からのご寄付でライフジャケットを買うことができました



↑スモモ：埼玉からきた子どもたち。スモモ狩りはもちろん初めて

お知らせ

Information

「県民の森」森の案内人研修会を開催します

◆日時／11月8日(日) 9時30分～15時30分まで

◆会場／県民の森森林学習展示館

◆募集／15名程度

◆参加費／無料

※お申し込みは、「県村山総合支庁森林整備課ホームページ」から様式ダウンロードするか、または、村山総合支庁森林整備課森づくり ☎023(621) 8156まで

ハローワーク寒河江・村山合同「就職面接会」

◆日時／10月16日(金) 13時～15時

◆場所／サハトベに花(河北町)

◆対象者／学生以外で仕事をお探しの方

◆参加企業／ハローワーク寒河江・村山管内に就業場所を有し、「正社員求人」を提出する企業30社以上(パート求人などもあります)

◆内容／企業ブースで個別に求人説明

◆その他／参加費無料・履歴書不要・服装自由

※お問い合わせは、ハローワーク寒河江 ☎(86) 4221まで

空き家をお持ちのみなさまへ

空き家に関するさまざまな相談に対応するため、「山形県空き家利活用相談窓口」を開設し、空き家所有者からの相談をお受けしています。所有している家に住まなくなったら、ぜひご相談ください。

◆主な相談内容／適正な管理・売却・賃貸・解体

※お問い合わせは、公益社団法人山形県宅地建物取引業協会 ☎023(623) 7502、または公益社団法人全日本不動産協会山形県本部 ☎023(642) 6658

むらやま広域婚活事業の開催

「アラサー限定 アロマde焼肉コン」素敵な出会いを見つけてみませんか」を開催します！

◆開催日／11月7日(土)

◆会場／サハトベに花(河北町)・王様の焼肉(中山町)

◆対象／26歳～35歳の独身男女(男

大江町の博覧会

シェイクラボ SHAKE LAB 2015

初開催！「大江町」をキーワードに展示やワークショップ、映像上映、自然体験などを企画！ もちろん大江の味覚を味わうコーナーもあり。イベント初日の13時から、やまさあ〜でオープニングセレモニーのライブイベントもあります。

「ゆさぶりの実験室」と題してさまざまな催しものを企画しておりますので、ぜひお越しください。日曜日には、町内循環無料シャトルバスも運行予定です。

日時：10月31日(土)13時～20時

11月1日(日)9時～16時

会場：テルメ柏陵、小倉交流館、山里交流館やまさあ〜

主催：OE REPOWER PROJECT

詳細は、ホームページ<http://shakelab.net/>をご覧ください。



女各12名)

◆参加費／男性6千円 女性4500円(女性2人以上でお申込みの場合5000円割引)

◆服装／ちよつとおしゃれな服装

◆申込期限／10月26日(月)正午(事前セミナーについても同様)

男性は村山地域に在住の方で、事前セミナー参加者の方優先とします。

《事前セミナー「上手な話し方テクニク」》

◆日時／11月1日(日)13時30分～

◆場所／霞城セントラル

◆対象／婚活をしている独身男女(参加費無料)

◆講師／トミー伊藤氏

※お申し込み・お問い合わせは(事前セミナー含む)、NPOマリッジサポートセンターやまがた ☎0801821517745まで

「パワースポットキャンプin大江町 松保の大杉」を実施中です！

杉林の中で、澄んだ空気に生きも

みんなで“まちづくり交流会”を開催します



東北芸術工科大学の学生を交え、旧きらやか銀行大江支店の利活用を中心に“まちづくり”を考えるワークショップを開催します。全5回の開催となりますので、ぜひご参加ください。

期日・時間	場所	主な内容
10月8日(木) 19時～21時30分	役場3階 大会議室	東北芸術工科大学の学生が見聞きした「大江町の今」の発表 大江町の魅力と課題についての意見交換
10月22日(木) 19時～21時30分	役場3階 大会議室	ワークショップ 「未来のビジョンを共有しよう！」
11月12日(木) 19時～21時30分	東地区公民館 ホール	ワークショップ 「人の集まる場所とは？」
12月3日(木) 19時～21時30分	東地区公民館 ホール	ワークショップ 「大江町流の方法を探そう」
12月17日(木) 19時～21時30分	東地区公民館 ホール	ワークショップ とりまとめ「私たちは何をやるのか？」

※お申し込みは、政策推進課総合戦略推進係 ☎62-2118まで

善意いただきました

株式会社茂木石油より、町へ10万円の寄付をいただきました。いただいた寄付金は、小中学校の図書購入に活用させていただきます。

- ◆貸出品／①ハンモックテント②パ
- ◆価格／テント1張4千円(最大収容人数は大人3人または大人2人と子供2人)
- ◆場所／松保の大杉周辺の杉林
- ◆のたちの声、大江の自然に触れながら、パワースポットキャンプに出かけましょう!

多様なビジネスチャンスをとらえ所得向上を実現するため、次世代経営者に求められる農業経営力を高めることを目的とする講座です。

◆研修期間／全5回(平成27年11月28年2月)

やまがた農業経営力養成講座 受講生募集!

11月9日から11月15日までの7日間、秋季火災予防運動が県下一斉に実施されます。火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防の考え方の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者などの死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的に実施するものです。

防火標語「無防備な 心に火災がかくれんぼ」

秋季火災予防運動の 実施について

1ベキューコンロ③バーベキューコンロ用燃料

◆ご用意頂くもの／寝袋、食材、水、食器、調理器具、イスなどキャンプ用品一式

※お問い合わせは、So-tennen
☎090-1298016866まで

編集 後記

地からこの終着駅にたどりつく人がいると考えると、この町もまるで桃源郷のような、特別な場所に思えてきます。

(伊藤智治)

大空そのものを揺るがすような、汽笛の轟音。かつてはSLが町を走っているのが日常の光景だったわけですが、今や想像さえ及ばない世界です。しかし今の私たちにあって特別ではないと思えることも、実はそうではない、ということもあるかもしれません。たとえば、この町に「終着駅」があること。全国に数あるJR駅の中でも、線路の末端で行き止まりの駅は非常に珍しく、山形県内では左沢駅が唯一です。日本中に毛細血管のように張り巡らされた鉄道網をたどって、遙かな遠い

- ◆募集人員／20名程度(40歳位まで、農業者など)
- ◆会場／県立農業大学校 緑風館(新庄市)
- ◆受講料／無料(実費負担あり)
- ◆申込締切／10月28日(水)
- ※詳細は「やまがたアグリネット」に掲載しています。お問い合わせは、県立農業大学校研修部 ☎0233(22)8794まで

鉛筆画・押し花作品展
「きらめき」 上北山 林 克美



リレー随想／ 《第100回》

「写真」を想う

「写真」というものがこの世に誕生して、およそ180年がたち、日本に初の写真館が開業して150年が過ぎました。今日の時代、写真は画像というものにも姿を変え、あまりにも身のまわりにあふれ、それがあある生活に慣れ親しんでいるようです。写真の誕生を考えると、写真家の持つ写真表現のイメージに、思考や技術が加味され、さまざまな関心や情熱が写真術を完成させ、成熟させながら今に至っているように思います。

まず、写真が多くの人に受け入れられていったのは肖像写真としてだと言われている。写真は基本的に撮る対象物をそのまま忠実に正確

に再現します。そして定着した像を無数に複製することができ、簡単に持ち運べるようになりました。撮影する対象をそのまま忠実に再現するという科学性を軸に、それまで空間のないし時間的に見ることができなかった像を多くの人に伝え、人や社会の認識のあり方そのものに大きな変容をもたらしました。この大きな時代のうねりは、長い歴史の中で決して初めての事ではなく、私たちの先輩たちもそれぞれの時代に向き合い、紆余曲折の末に機軸を貫きつつも、変化を柔軟に受け入れ次の世代に託し、受け継がれ今日に至っています。時代の変化に対応するには、自らの変革も求められます。

写真の歴史の中で、像を定着させるための機材や感材も変化を遂げってきました。ガラス板に薬剤を塗った湿板から始まり、乾板、フィルムの誕生があり、階調豊かなモノクロ写真の全盛期を迎え、着色写真やセピア写真が作られ、天然色カラーフィルムができてカラー写真が全盛期、誰でも撮れるコンパクトカメラ、日本が世界に誇る使い捨てレンズ付きフィルム、そしてデジタルカメラ……これらの移行はより手軽に、より時短に、より安価にが叶えられ、もちろん写真が多くの人々の身近な存在として大きく成長した素晴らし

いことです。しかし、100年前の、未だに色あせない奥行きのある質感が高い写真を目にした時に、先人が太陽光を取り入れた自然光でのスタジオを作り、自ら薬品を調査してフィルムや現像液を作り、長時間露光撮影や暗室での現像作業、一晩かけての水洗作業など、さまざまなその時代なりの技術を駆使して時間をかけて作り上げられた一枚の写真に敬服してしまいます。そしてそこに映っている人や物、風景の計り知れない奥深さと作り手の念を感じてしまうのです。改めて写真は、例えば長い間人々に受け継がれてきた祭りと同じように、過去から未来へと時間の流れを越えて幅広い世代を繋げる力があるのだと確信しています。

今やまさにデジタル、インターネット時代。スマートフォンひとつで知りたい情報はすぐに手に入れることができ、問題は解決できます。またSNSで簡単に人同士のつながりができてしまう便利な世の中です。この時代において、人間の心を動かす、心に感じる、俗にいうアナログ的なものを人としての基盤として、忘れることなく大切にしながら、ある意味二極をうまく使いながら、豊かな人生であるように思われます。

(9区 菊地邦弘)

人口と世帯(前月比)

町の人口 8,748人(-6)
男 4,326人(+1)
女 4,422人(-7)
世帯数 2,921戸(+2)

平成27年10月1日現在

戸籍の まど

8月21日～9月20日受付分

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
深沢9区	菊地しのぶ	(90)
12区	庄司善子	(93)
藤田9区	佐藤常太郎	(80)
12区	渡邊しげ	(84)
藤田9区	渡辺源三郎	(93)
12区	高橋ツヤヲ	(96)
藤田	佐藤信利	(83)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
藤田	高橋 健吾	男	宏佳・真澄
諏訪原	石沢 颯磨	男	健翔・智奈美

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(原)	鈴木 康仁
(寒河江市)	菊地 朱里
(9区)	佐藤 雄大
(河北町)	庄司 瞳



※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。